

2009年中堅・中小企業の DWH/BIアプリケーション利用シェアと評価調査報告

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705：代表：伊嶋謙二 TEL：03-5244-6691 URL：http://www.norkresearch.co.jp）は2009年の国内中堅・中小市場におけるDWH/BIアプリケーション利用シェアと評価に関する調査を実施し、その分析結果を発表した。本リリースは「2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」のDWH/BIアプリケーションカテゴリに関する速報である。

<大規模なDWH構築を伴わないBIがカギ、中堅・中小市場はこれからが本番>

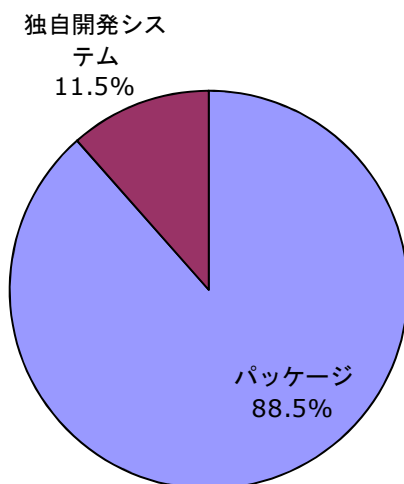
- パッケージが主体であるが、「見える化」の手軽な実現手段としてのASP/SaaS形態比率は今後上昇
- シェア争いはSAPジャパン、日本オラクル、日本IBMをウイングアーキテクロジーズが迎え撃つ形に
- 各社の中堅・中小企業向け製品はようやく出揃ったところ、ユーザ企業の評価競争はこれからが本番

対象企業	年商5億円以上～500億円未満を中心とした国内民間企業
対象地域	全国
対象の選定	弊社所有の企業データベースから抽出
サンプル数	約5,000社対象（有効回収票1,480件）
調査期間	2009年6月～9月

「見える化」の手軽な実現手段として、今後はASP/SaaS形態の比率が徐々に上昇する

以下のグラフは国内中堅・中小企業（年商5億円以上～500億円未満）の民間ユーザ企業に対し、DWH/BIアプリケーション導入形態現状（パッケージ、独自システム開発、ASP/SaaS形態）の比率を尋ねた結果である。

DWH/BI形態比率



N=200

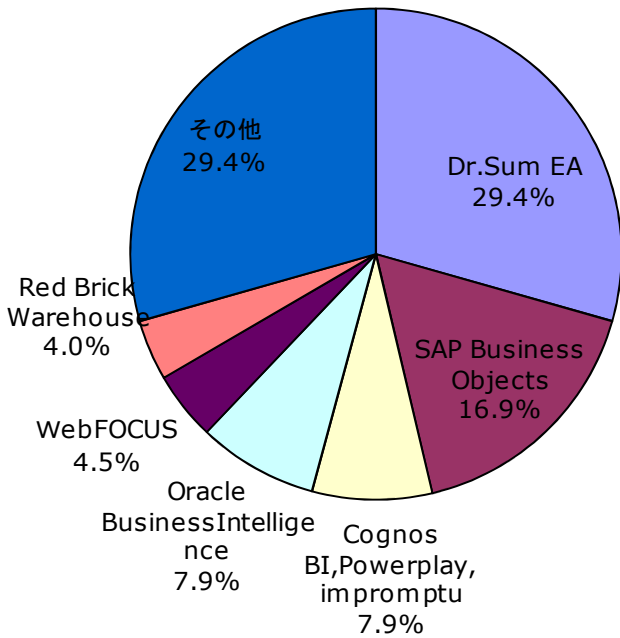
オフコンやメインフレーム時代から存在し、個別開発からパッケージへ徐々に変化してきた基幹系システムと異なり、DWH/BIはユーザ企業が抱えるデータ活用の課題を解決する手段として、ベンダ側がパッケージを主体に提案する形で登場してきた経緯がある。

一方で中堅・中小企業も「見える化」への関心を高めており、それに応える形でSAPの「Business Objects On Demand」のようなSaaS形態も登場してきている。

パッケージ主体の状況は変わらないが、対象となるユーザ企業層を広げる形で今後はASP/SaaS形態の比率が徐々に増えていくと予想される。

大手外資系ベンダ三社に国産ベンダー社の計四社が今後のシェア争いの中核に

DWH/BIパッケージシェア



N=177

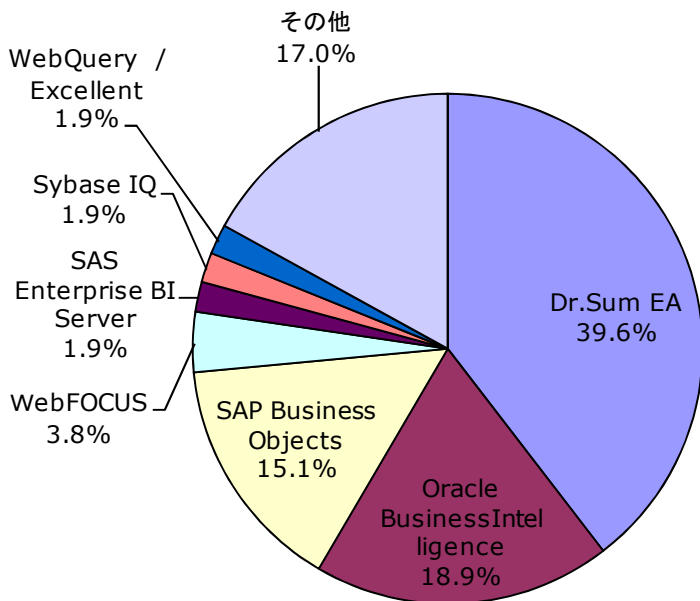
左グラフはパッケージ利用シェア（現在導入済みのパッケージ製品に関する社数ベースのシェア）の結果である。

「Dr.SUM EA」（ウイングアークテクノロジーズ）と「SAP Business Objects」（SAPジャパン）の二製品が他を引き離す状況は昨年と変化ない。

しかし、「Cognos」（日本IBM）「Oracle Business Intelligence」（日本オラクル）はいずれも中堅企業向けの製品展開を活発化させており、「Dr.SUM EA」と「SAP Business Objects」もその点では余念がない。

「大規模なDWHを構築せずに導入が可能な中堅・中小企業向けBI製品」という観点では、これら四製品が今後のシェア争いにおける中核をなすものと予想される。

DWH/BI利用予定パッケージシェア



N=53

左グラフはパッケージ利用予定シェア（新規導入または今後も継続利用する意向のあるパッケージ製品の社数ベースのシェア）の結果である。

サンプル数がやや少ないため、参考に留める必要があるが、DWH/BIの導入対象としては年商50億円以上の中堅企業が主体となる。

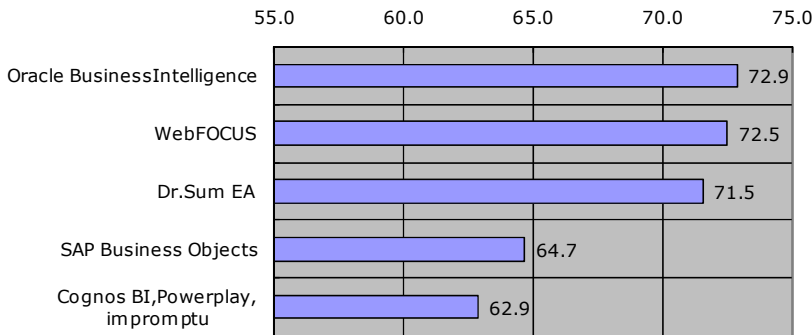
今後はERPなどの基幹系業務システムとの連携性や親和性を強みとする日本OracleやSAPジャパンといった外資系ベンダ各社がさらに存在感を増してくると予想される。

今回の調査実施時期以後のリリースとなったため、利用予定シェアには含まれていないが、中堅・中小向け新製品「Cognos Express」を擁する日本IBMについても要注目である。

これら外資系ベンダを、帳票に起源を持つ国産ベンダであるウイングアークテクノロジーズが迎え撃つという構図になっている。

各社の中堅・中小企業向け製品がようやく出揃う、製品評価競争はこれからが本番

DWH/BIパッケージ評価



N=177

左グラフは利用シェアにおける上位五つのパッケージに対するユーザの五段階評価（製品全体に対する総合的な評価）の結果である。

中堅・中小企業では本格的なDWHを構築することなく、既存のデータを手軽に「見える化」できるか？が重要な評価ポイントとなる。

「SAP Business Objects」や「Cognos」の評価が低めだが、両製品とも中堅・中小企業向けの製品展開を開始したばかりである。

ようやく中堅・中小企業向け製品が全て出揃った状態であり、本格的な評価判断はこれからが本番であるといえる。

— レポート発刊のご案内 —

『2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価』

中堅・中小企業市場におけるITアプリケーションの動向を全国の中堅・中小の民間企業（年商5億円以上～500億円未満、1480社）の調査結果から詳細に分析した必携の一冊

価格： 95,000円(税別) ※CD-ROM版/製本版のいずれかを選択可

発刊日： 2009年10月26日

【主なレポート内容】

- ・ ITアプリケーションの提供形態（パッケージ、独自開発システム、ASP/SaaS）の現状と今後
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用シェア（社数ベースの導入シェア）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別評価（製品に対する満足度を五段階で評価）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用予定シェア（社数ベースの導入予定シェア）

対象となるITアプリケーションカテゴリ

「ERP」「生産管理システム」「財務管理システム」「販売管理/購買管理システム」

「給与管理システム」「人事管理システム」「ワークフロー」「グループウェア」「CRM」

「運用管理/資産管理」「クライアントPCセキュリティ」「CTI」「DWH/BI」「文書管理」

「帳票」

当調査データに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当：岩上 由高
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
 inform@norkresearch.co.jp
 www.norkresearch.co.jp

NORKRESEARCH